

#18 青銅の蛇によって予表されているキリスト

(民数記の結晶の学び)2019/9/23-29)

I. イスラエルの子たちは神に対して罪を犯した時、蛇にかまれました。神はモーセに、青銅の蛇を竿の上にかけて、彼らに代わって神の裁きを受けさせるように、そうすれば、それを見るすべての者が生きると告げました:

民21:8-9 エホバはモーセに言われた、「一つの火の蛇を作り、それを竿の上にかけてなさい。かまれたすべての者は、それを見れば生きる」。モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを竿の上にかけて、蛇がどの人をかんでも、その人が青銅の蛇を見ると生きた。

A. 青銅の蛇はキリストを予表し、竿は十字架を予表しています。予表において、青銅は裁きを表徴していません。青銅の蛇は蛇の形を持っていましたが、蛇の毒の性質は持っていませんでした。

B. 同じように、キリストは罪の肉の形で十字架上に上げられましたが、肉の毒の罪には決してあずかりませんでした。

C. 創世記3章において、サタン、蛇は彼の性質を人の肉の中へと注入しました。私たちはみなアダムの子孫として、古い蛇、悪魔によって「かまれ」ています。ですから、神の目に、墮落した人類全体は、蛇的な人から成っており、彼らの墮落した性質の中に古い蛇の毒を持っています:

1. 主イエスはヨハネ8:44において、悪魔が罪人の父であることを啓示しました。こういうわけで、私たちは墮落した性質において、古い蛇である悪魔の子供たちです。

2. 主イエスはマタイ12:34において、パリサイ人を「まむしの子らよ」と呼び、23:33において、彼らを「蛇よ! まむしの子らよ!」と呼びました。**3.** 悪魔は年を経た蛇であり、罪人は蛇、まむしの子らです。私たちは墮落した性質において罪深いだけでなく、蛇的です。**4.** ローマ7章は、サタンが人格化された罪として私たちの肉の中にいると言っています。罪は人々を欺き、殺すことができ、また人々の中に住んで、彼らの欲することに反することを彼らに行なわせることができます。罪はとても生き生きとしていて、非常に活発であるので、それは邪悪な者サタンの邪悪な性質であるに違いなく、墮落した人類の中に住み、活動し、働いています。 **月**

D. 主は人の子として十字架上で蛇の形で上げられて、蛇の毒におかされた人々に対する裁きを担いました。彼は十字架上に上げられて、古い蛇、サタン、この世の支配者を追い出しました。

E. このゆえに、主は人の子として上げられて、蛇の毒におかされた人々を罪から、すなわち蛇の毒から解放することができます。主はまた、上げられることによって、サタンを滅ぼし、すべての人々をご自身に引き寄せました。

F. 今や、上げられて私たちの代わりに罪定めされた方としてのキリストの中へと信じる者はだれでも、永遠の命を持ちます。私たちは「青銅の蛇」に、私たちの身代わりとなつて、私たちのために神の裁きを担い、私たちを贖い、彼の救う神聖な命を、私たちの存在の中へと解放していただく必要があります。

ヨハネ3:14-15 **そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければならない。それは、彼の中へと信じる者がすべて、永遠の命を持つためである。**

G. 私たちは悔い改め、自分が蛇的であることを認めるとき、資格づけられてキリストを永遠の命として経験し、彼を享受します:**1.** 「悔い改め」のギリシャ語は、思いを変えて、後悔し、目的を転換させることを意味しています。人の悔い改めはまた、すべてのものから神ご自身へと向きを変えることです。**2.** この事は私たちの経験において、一度限りの事柄ではなく、日ごとに経験することです。バプテスマ

のヨハネは悔い改めを宣べ伝え、主イエスは啓示録2章と3章の七つの召会に対する七つの書簡において、悔い改めるようにと繰り返し私たちに告げています。

H. 青銅の蛇の予表の成就としてのキリストが罪の肉の様で来て、私たちの置き換えまた身代わりとして十字架上で死なれたのは、私たちを再生し、私たちに永遠の命を持たせるためであったことを、私たちが認識するのは大きな祝福です。 **火**

II. ヨハネ3章は蛇と花嫁について語っています:

A. ヨハネ3:16は、14節と15節の結果です。すなわち、神聖な永遠の命を受けることは、青銅の蛇、すなわち真の罪のためのささげ物としてのキリストを十字架上に上げることの結果です:**ヨハネ3:16 神はそのひとり子を賜ったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。**

1. 主イエスは私たちの身代わりとして上げられて、私たちのために神の裁きを担いました。それは私たちが彼を見て(彼の中へと信じて)、永遠の命を持つためです。

2. 私たちはアダムの中で古い蛇にかまれたので、死んでいましたが、今や十字架上に上げられた青銅の蛇としてのキリストを通して、永遠の命、神の命を受け入れることができます。この事は、世の人に対する神の愛の真の現れです。

B. 蛇が私たちを「かむ」ことが意味するのは、蛇が自分の性質の毒を私たちの中へと注入して、私たちを蛇の増し加わりとするということです。人類全体は墮落を通して、サタンの増し加わりとなってしまいました。

C. ヨハネ3章が啓示しているのは、再生が神聖な命を信者の中へもたらすだけではなく、彼らをキリストの増し加わりのために団体の花嫁とならせるということです。アダムがエバの中で増し加わったように、キリストは彼の花嫁の中で増し加わります。**ヨハネ3:29-30 花嫁を持つ者は花婿である。花婿の友は立って花婿の声を聞き、その声のゆえに喜び歓喜する。こうして、私はこの喜びに満たされている。彼は必ず増し加わるが、私は必ず減少する。**

創2:22 **こうして、エホバ・神は、その人から取ったあばら骨を一人の女に建造し、彼女をその人の所に連れて来られた(木曜日の御言葉)。**

D. キリストが青銅の蛇として十字架上に上げられることによって、サタンの増し加わりは、キリストの増し加わりとなり、キリストの花嫁となりました。かつてはサタンの増し加わりであった私たちは、キリストの増し加わりとなりました。

E. すべての再生された人は花嫁の構成要素であり、花婿である主イエスと結婚します。再生は、私たちの蛇的な存在が捨て去られ、私たちが神聖な命を受けて新しい存在となることを意味します。それは私たちが花嫁の一部となるためです。私たちはこのことによって、再生がキリストの花嫁を生み出すためであるのを見ることができます。

F. ヨハネ3章の意図は、無限のキリストが宇宙的な増し加わりを持たなければならないことと、彼が今日この増し加わりを得る過程の中にいることを見せることです。計り知れない霊は、無限のキリストのために宇宙的な増し加わりを生み出しています。

G. 全体として考えると、聖書は蛇と花嫁の事柄を明らかにしていると、私たちが言うことができます: **水**

1. 神はアダムのあばら骨を用いてエバを生み出しましたが、創世記3:1~6において、蛇が花嫁を訪れて、彼女を捕らえることに成功しました。しかしながら、神は蛇よりも偉大で、高く、賢いのです。

2. 神は蛇を裁いた時、女が子孫(キリスト)を生み出し、蛇

の頭を打ち砕くことを示しました。さらに、女の子孫はまた、蛇によって毒された人にとって義となりました。

創3:15 また、私は敵意を置く。おまえと女との間に、またおまえの子孫と女の子孫との間に、彼はおまえの頭を打ち砕くが、おまえは彼のかかとを打ち砕く。

3. パウロは、エバに来て彼女をかんだ蛇がコリントの信者たちに来て彼らをかむのではないかと心配していました。再び、この事は蛇と花嫁の物語です。

4. 啓示録は蛇と花嫁についての最後の言葉を与えています：**a.** 19章は、花嫁が小羊の婚宴のために用意ができていたことを啓示しています。

b. この宇宙的な夫婦は婚宴の直後、サタンと彼に従う者たち、獣と偽預言者に対して戦います。それからサタンは縛られてアビスに投げ込まれ、そこで千年間、監禁されます。**c.** その事に続いて、サタンはもう一度反逆し、究極的には火の池に投げ込まれます。**d.** その後、宇宙は徹底的に一掃されて、新しい天と新しい地になります。そこには宇宙的な夫婦がいて、永遠に至ります。すなわち夫としてのキリストと、花嫁としての召会です。 **✠**

Ⅲ. 蛇的な人々は、永遠の命を伴う計り知れない霊によって、無限のキリストの宇宙的な増し加わりとなりつつあります：

A. 私たちは経験において認識する必要があるのは、命を与える霊としてのキリストから離れるなら、私たちは争う蛇であり得るということです。私たちは召会生活の中で、争う蛇であるか、命を与える霊を飲む者であるかのどちらかであり得ます。**ヨハネ7:37-39** イエスは…叫んで言われた、「だれでも渇く者は、私に来て飲むがよい。私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。イエスはこれを…その霊について言われたのである。

B. ヨハネ3:30は、キリストの増し加わりについて述べています。それは、29節のキリストの花嫁です：

1. 私たちの天然の誕生によれば、私たちはみな自動的に自分の蛇的な存在によって生きています。これは善悪知識の木の原則にしたがって生きることです。

2. 私たちの天然の命と生活は、キリストの増し加わりの一部分ではありません。私たちの存在の再生された部分、すなわち、私たちの再生された霊だけが、キリストの増し加わりです。**3.** キリストは真に実際的に、私たちの命またパーソンであるべきです。私たちは彼を生き、彼と一つ霊です。私たちは彼の中に住み、彼は私たちの中に住んでいます。ですから、彼と私たちは一つの命また一つの生活を持っています。これは、蛇のような人々がキリストの花嫁となることです。**4.** 私たちはこのような生活を持つとき、実際において蛇のような存在が造り変えられて、キリストの花嫁、キリストの増し加わりとなる過程にいます。この花嫁の究極的な完成は、神の幕屋また小羊の妻としての新エルサレムです。

5. どうか主が私たちをあわれんでくださり、私たちが再生された存在によって生きることを学びますように。 **✠**

C. 私たちはヨハネ3章において、少なくとも無限のキリストの九つの面を見ることができます：

1. 無限のキリストは、上から来る方、すなわち、天から来る方です。**ヨハネ3:31** 上から来る方は、すべての上におられ、地から出る者は地に属し、地のことを語る。天から来る方は、すべての上におられる。**2.** 無限のキリストは、すべての上にいます。なぜなら、キリストはすべてを含み、無限で、宇宙的であるので、地上にいる間、なおも天にいました。

3. 無限のキリストは、御父によって愛されています。私たちはキリストの中でのみ、父なる神の愛を享受することができます。**ヨハネ3:35** 御父は御子を愛しておられ、すべてを

彼の手に与えられた。**4.** 無限のキリストは、すべてを与えられています。御父は、私たちを含めてすべてを御子の御手に与えました。**5.** 無限のキリストは、神によって遣わされました。**6.** 無限のキリストは、神の言葉を語ります。

7. 無限のキリストは、その霊を限りなく与えます。

8. 無限のキリストは、永遠の命を彼の信者に与えます。

9. 無限のキリストは、彼の宇宙的な増し加わりとしての花嫁を持っています。**ヨハネ3:30-31** 「彼は必ず増し加わりますが、わたしは必ず減少する」。上から来る方は、すべての上におられ、地から出る者は地に属し、地のことを語る。天から来る方は、すべての上におられる。

D. 計り知れない霊は、複合の膏油によって予表されているすべてを含む複合の霊です：**1.** 計り知れない霊は、命を与える霊です。**Iコリント15:45** 最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。(金曜日の御言葉)

2. 計り知れない霊は、霊なるキリストでもあります。「霊なるキリスト」という用語は、その霊としてのキリストを指しています。

E. 永遠の命は三度、ヨハネ3章において述べられています：**1.** 永遠の命は、神聖な命、永遠の神の命です。この命は、時間、空間、本質、機能、力において永遠です。

2. 永遠の命は、召会、花嫁の要素となる三一の神の本質です。花嫁はキリストの宇宙的な増し加わりであって、三一の神の団体の表現となります。 **✠**

Crucial Point(1):肉が蛇であることを知って、肉に信頼せず、ミングリングされた霊に従って生活することを学ぶ

OL1: 青銅の蛇はキリストを予表し、竿は十字架を予表しています。予表において、青銅は裁きを表徴しています。青銅の蛇は蛇の形を持っていましたが、蛇の毒の性質は持っていませんでした。同じように、キリストは罪の肉の形で十字架の上に上げられましたが、肉の毒の罪には決してあずかりませんでした。

OL2: 創世記 3章において、サタン、蛇は彼の性質を人の肉の中へと注入しました。私たちはみなアダムの子孫として、古い蛇、悪魔によって「かまれ」ています。ですから、神の目に、墮落した人類全体は、蛇的な人から成っており、彼らの墮落した性質の中に古い蛇の毒を持っています。

OL3: ローマ 7章は、サタンが人格化された罪として私たちの肉の中にいると言っています。罪は人々を欺き、殺すことができ、また人々の中に住んで、彼らの欲することに反することを彼らに行なわせることができます。罪はとても生き生きとしていて、非常に活発であるので、それは邪悪な者サタンの邪悪な性質であるに違いなく、墮落した人類の中に住み、活動し、働いています。

民21:8-9 エホバはモーセに言われた、「一つの火の蛇を作り、それを竿の上をかけなさい。かまれたすべての者は、それを見れば生きる」。モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを竿の上に向けた。蛇がどの人をかんでも、その人が青銅の蛇を見ると生きた。

ヨハネ3:14-15 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければならない。それは、彼の中へと信じる者がすべて、永遠の命を持つためである。

ヨハネ 3:14によれば、キリストは青銅の蛇になられました。…彼は形において蛇でしたが、蛇の毒の性質は持っておられませんでした。しかしながら、私たちは実際は蛇的です。なぜなら、私たちは墮落した性質において、古い蛇、悪魔の子供たちであるからです。

罪を犯したかったのはイスラエルの子たちではなく、むしろ、彼らの中の蛇が彼らに罪を犯させたのです。イスラエルの子たちを裁く時、神は実は蛇を裁いていたのです。ですから、竿の上に向けられたのは、実は蛇でした。人は

罪を犯しましたが、蛇が裁きを受けました。これは、罪を犯したのは実は人の中の蛇、すなわち悪魔であったことを見せています。神の目に、蛇とイスラエルの子たちは一でした。ですから、神が竿の上の蛇を裁いたことは、神がイスラエルの子たちを裁くことでもあったのです。

「悔い改め」のギリシャ語は、思いを変えて、後悔し、目的を転換させることを意味しています。ですから、悔い改めることは、聖書が教えているように、思いを変えることです。それは人々が一般的に信じているように、自分自身を改善したり、改心したりすること、悪を放棄したり、善に立ち返ったりすることではありません。

主イエスがこの言葉を[ヨハネ 3:14 で]ニコデモに語られた時、彼はそれを理解しなかったようです。ニコデモは確かに自分自身を蛇ではなく、倫理的な紳士と考え、自分の振る舞いについて教えを受ける目的で主イエスの所に来ました。しかしながら、主イエスは青銅の蛇に関する彼の言葉の中で、ニコデモにこう言っておられたかのようです、「あなたは自分自身を紳士と考えるのではなく、むしろ自分が蛇であることを認識すべきである。…あなたの置き換えとして、私は蛇の形で上げられる」。青銅の蛇の予表の成就としてのキリストが罪の肉の様で来て、私たちの置き換えまた身代わりとして十字架上で死なれたことを、私たちが認識するのは大きな祝福です。

適用: 新人編

あなたは主の中へと信じ、霊が再生され救われました。しかしあなたの肉の中には依然としてサタンである罪が住んでいます。救われた後、召会生活の中で主の命が霊から魂に広がります。その後、主イエスが再来される時に、魂が十分に造り変えられている信者は、体にも主の命が浸透し栄光化されます。この時、肉の中の罪は完全に追い出されます。したがって今日の召会生活において、罪の問題がなくなることはありません。あなたの必要は肉に従って生きるのではなく、霊に従って生きることを訓練することです。

救われた新人の皆さんは、肉が全く信頼に値しないものであることをはっきりと認識してください。肉は蛇にすぎません。アダムの墮落のゆえに、アダムの子孫である私たちは罪を犯すだけでなく、罪人に構成されており、蛇の増し加わりです。あなたの肉には邪悪な罪深い面だけでなく、善良な面、宗教的な面も含みます。それが表面的に良くても、肉は蛇にすぎません。それは神に信頼せず、祈ることを要求しません。例えばあなたは優秀な学生、あるいはビジネス・パーソンです。あなたは以前、自分に頼り、肉に頼ってこれらのことを行っていました。あなたは優秀であっても、内側は競争心、嫉妬、怒り、焦り、不安で満たされていました。今、あなたは救われて、ミングリングされた霊を持っています。主の御言葉を享受して、主に祈り、主に頼って勤勉に勉強し、勤勉に働いてください。主に信頼する人は、素晴らしい祝福を得ることができます。この祝福を獲得するために、あなたは肉においては蛇であることを認識し、上げられた青銅の蛇である主を見上げ、霊に従って生きることを学ぶことができますように。

祈り: 「おお主イエスよ、私は救われましたが、内側にはまだ肉があり、肉は蛇にすぎないことを認識します。肉は一見良さそうでも、内側は墮落しており、腐敗したものに満ちています。主が再来されるまで、肉は私と共にあるので、私は肉に警戒し、肉に頼らず、ミングリングされた霊に従って生きることを学びます。アーメン！」

Crucial Point(2): 蛇の増し加わりが、キリストの増し加わり、キリストの花嫁となる

OL1: 蛇が私たちを「かむ」ことが意味するのは、蛇が自分の性質の毒を私たちの中へと注入して、私たちが蛇の増し加わりとすることです。人類全体は墮落を通して、サタンの増し加わりとなってしまいました。

OL2: ヨハネ 3 章が啓示しているのは、再生が神聖な命を信者の中へともたらすだけではなく、彼らをキリストの増し加わりのために団体の花嫁とならせるということです。アダムがエバの中で増し加わったように、キリストは彼女の花嫁の中で増し加わります。

OL3: キリストが青銅の蛇として十字架の上に上げられることによって、サタンの増し加わりは、キリストの増し加わりとなり、キリストの花嫁となりました。かつてはサタンの増し加わりであった私たちは、キリストの増し加わりとなりました。

アダムの中で、古い蛇は私たちをかむことによって、彼自身のために私たちが獲得しました。蛇が私たちをかむとは何を意味するかわかりますか？ それは、彼が自分の性質の毒を私たちの中へと分け与えて、私たちが彼の増し加わりとすることを意味します。墮落を通して、全人類がサタンの増し加わりとなりました。あなたは救われる前、自分が何であったか知っているでしょうか？ あなたはサタンの増し加わりの一部分でした。私たちが救われる前にどのような種類の人であったとしても、私たちはみなあの邪悪な者の増し加わりの一部分でした。蛇はエデンの園でアダムをかんだ時、全人類を獲得し、人類のすべてが彼の増し加わりとなったのです。疑いもなく、創世記 3 章で人をかんだ後、サタン、古い蛇は幸いでした。彼は笑って、「私は自分自身のために人を獲得した。神によって創造された人は、今や私の増し加わりとなった」と自分自身に言ったでしょう。

しかし、主イエスが来て青銅の蛇とされました。これは、彼が私たちのために罪とされたことを意味します。Ⅱ コリント 5:21 は、「神は罪を知らなかった方を、私たちに代わって罪とされました」と言います。罪はサタンから来て、人の中へと入り、人を罪人としただけでなく、神の裁きの下にある罪そのものとなりました。このゆえに、キリストが肉体の中にある人と成られた時、彼は私たちのために神によって裁かれるべき罪とされました。

十字架でのキリストの死は、私たち罪人が彼の中へと信じ、彼を受け入れるための道を開きました。今や私たちは彼の命を受けることができます。主は彼の贖いを通して、ご自身を私たちの中に分け与えて、私たちが彼の増し加わりとならせました。このようにして、かつてはサタンの増し加わりであった私たちは、キリストの増し加わりとなりました。過去に私たちはサタンの増し加わりの一部分でしたが、キリストの増し加わりの一部分となったゆえに主を賛美します。

この物語は、聖書の最後に来るまで続きます。啓示録に、蛇と花嫁に関する最後の言葉があります。19 章で、花嫁が小羊の婚姻のために用意ができてのを見ます。この宇宙的な夫婦は婚宴の直後、サタンと彼に従う者たち、獣と偽預言者に対して戦います。それからサタンは縛られてアビスに投げ込まれ、そこで千年間、監禁されます。その事に続いて、サタンはもう一度反逆し、究極的には火の池に投げ込まれます。その後宇宙は徹底的に一掃されて、新しい天と新しい地になります。そこには宇宙的な夫婦がいて、永遠に至ります。すなわち夫としてのキリストと、花嫁としての召会です。

適用: 青少年・大学生編

あなたは救われる前、蛇の増し加わりでした。救われた後、霊が再生され、神の子供、キリストのからだの肢体、キリストの増し加わりとなりました。あなたは召会生活の中で

成長してキリストの花嫁になります。ハレルヤ！ サタンの増し加わりであった者が、キリストの増し加わりになることができます。これは何というすばらしい救いでしょう！ あなたは自分の墮落した肉だけを見て失望してはいけません。そうです。あなたの肉は墮落しており、神の目に蛇であり、何の価値もありません。しかしあなたの霊は再生されました。そして成長して団体的に軍隊へと編成され、花嫁・軍隊になりつつあります。召会時代が終わり、王国の時代に転換させるのは、花嫁・軍隊です。花嫁・軍隊は今日、一面、主に聞き、主だけを見つめ、主を熱烈に愛します。もう一面、主の中で、からだの組み合わせの中で、サタンに敵対し、霊的戦いを戦います。それは主の再来をもたらす、神の王国を地上にもたらすためです。

祈り:「おお主イエスよ！ 蛇の増し加わりであった私を、あなたの増し加わり、あなたの花嫁とさえして下さる救いを感謝します！ 肉に従って生き、サタンに聞くのではなく、霊に戻り、あなたに聞き、あなただけを見つめ、あなたを熱烈に愛します。私を日々成長させ、あなたの花嫁・軍隊にならせ、地上に神の王国をもたらすことができますように！」

Crucial Point(3):御言葉を祈り読みし、祈り、その霊の無限の供給を受けて、無限のキリストの宇宙的な増し加わりとなる

OL1:蛇的な人々は、永遠の命を伴う計り知れない霊によって、無限のキリストの宇宙的な増し加わりとなりつつあります。

OL2:私たちは経験において認識する必要があるのは、命を与える霊としてのキリストから離れるなら、私たちは争う蛇であり得るということです。私たちは召会生活の中で、争う蛇であるか、命を与える霊を飲む者であるかのどちらかであり得ます。

OL3:無限のキリストは、神の言葉を語ります。無限のキリストは、その霊を限りなく与えます。

ヨハネ 3:34 神が遣わされた方は神の言葉を語る。彼はその霊を限りなく与えられるからである。

私たちが無限のキリストの宇宙的な増し加わりになる唯一の方法は、その霊を受けて、その霊で満たされることです。私たちはその霊を持てば持つほど、ますますキリストの増し加わりとなるでしょう。この増し加わりは私たちの再生から始まり、私たちが計り知れない霊で満たされることをもって究極的に完成します。

私たちはただ御言を読んだり、それを研究したりするだけでなく、それを食べることを学ぶ必要があります。私たちは神の御言を霊の中へと受け入れ、そこでそれを消化することを学ばなければなりません。これは、神の御言を私たちの霊の中で享受することです。御言を通して、私たちはその霊を受け、その霊を持つとき、永遠の命を持ちます。…無限のキリストは永遠の命を彼の信者たちに与える方です。

無限のキリストは、彼の宇宙的な増し加わりとしての花嫁を持っています。この宇宙的な増し加わり、キリストの花嫁は、再生されたすべての者の集大成です。それは、すべての再生された人の生ける構成です。これは、無限のキリストの宇宙的な増し加わりとしての花嫁です。このことは、神のレーマを受けて、命を与える霊で満たされたときのみ可能です。言葉を受け入れて、その霊で満たされるなら、私たちは永遠の命を享受します。その結果、私たちは花嫁、すなわち無限のキリストの宇宙的な増し加わりとなります。

適用: 在職青年・大学院生編

あなたは再生された人として、毎日、御言葉を祈り読みし、御言葉を用いて主と交わることで、御言葉の中の命を与える霊に触れる必要があります。命を与える霊を経験しなければ、あなたは蛇にすぎません。

御言葉を用いて主と個人的に交わる時、あなたは主に開き、自分の言いたいことを主に告げることができます。主はあなたに同情し、あなたの祈りを聞き、あなたを顧みられます。そしてあなたに主の臨在を与え、力を与えます。

主の臨在によって力づけられる時、あなたは神のエコノミーを認識します。神には心の願いがあり、エコノミーがあります。神のエコノミーが地上で遂行されるために、軍隊に編成された一組の人々が必要です。これらの人々は熱烈に主を愛するキリストの花嫁でもあります。彼らは花嫁・軍隊です。彼らはキリストを命とし、団体的に組み合わせられ、建造されて、無限のキリストを大きく表現し、サタンと戦いサタンの王国を終わらせ、神の王国をもたらします。このことを実行するために、あなたは毎日、自分の霊を活用して御言葉を祈り読みし、祈り読みから得た感覚(レーマの言葉)を用いて祈り、バイタル・パートナーと共に神のエコノミーの遂行について祈って(香壇の祈り)ください。そうすれば主はあなたに無限の霊を供給して下さいます。

祈り:「おお主イエスよ、花嫁・軍隊になるために、毎日、主に開き、自分の霊を活用し、御言葉を祈り読みし、命を与える霊に触れます。無限の霊が供給され、主の臨在によって力づけられ、神のエコノミーを認識します。バイタル・パートナーと共に、香壇の祈りをし、神のエコノミーの遂行のため、6種類の新人の成長のために祈ります。」

人生の奥義(2) 神から与えられる恵み、祝福・『新しい』

A. 伝道 1:10 前半 人が、『見よ、これは新しい』と言えるものがあるか？

B. 伝道 1:8-9 すべての事は疲れさせる。だれもこれを言い尽くすことはできない。目は見ることに飽きることがなく、耳は聞くことに満ち足りることがない。前にあったことは、後にもあり、前に起こったことは、後にも起こる。日の下に新しいものは何もない。

C. ローマ 6:4 こういうわけで、私たちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、私たちも命の新しさの中を歩くためです。一バプテスマの後、私たちは復活の中で新しい人になります。復活は将来の状態だけではなく、現在の過程でもあります。命の新しさの中を歩くと、今日、復活の領域の中で生き、命の中で王として支配することを意味します。このように生きることは、私たちの内側のアダムに属するものをすべて対処し、私たちが完全に造り変えられ、キリストのかたちに同形化されるまでします(FN4)。

D. IIコリント 4:16 こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。一復活の命の新鮮な供給で養われることによって。…そして私たちの内なる人、すなわち、私たちの再生された霊は、内なる各部分と共に復活の命の供給をもって、新陳代謝的に、日ごとに新しくされていきます(FN3)。

E. ローマ 12:2 思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。一私たちの思いは、魂の主要な部分です。この思いが新しくされると、意志と感情も、それに続いて自然に新しくされます。新しくされるとは、新しい要素が私たちの中に造り込まれることです。すると、内側に新陳代謝の変化が生じ、私たちをキリストのからだの建造、すなわち召会生活の実行にふさわしいものとするのです(FN4)。